

感染症発生状況

平成31年1月31日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年1月21日（月）～1月25日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】787名 【職員】57名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】157名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数163名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（349名）、咳・鼻水（64名）、下痢・腹痛（28名）、嘔気・嘔吐（24名）

疾病別：インフルエンザ（258名）、溶連菌感染症（24名）、胃腸炎（16名）、とびひ（5名）

【職員】症状：熱（15名）、咳・鼻水（2名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：インフルエンザ（28名）、胃腸炎（4名）、流行性角結膜炎（4名）

冬の感染症としてのインフルエンザ、RSウイルス感染症、溶連菌感染、かぜ症状の猛威と夏型のとびひ、手足口病が入り交じっての流行です。職員にも各種感染症が流行しています。寒さがもう少し続きます。人混みを避けるなど、感染症に御注意ください。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 厨川、盛南、河南地域で減少。玉山、河北、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北、盛南地域で減少しました。厨川地域で増加しました。

胃腸炎 玉山、厨川、河北、河南地域で増加しました。

とびひ 河北地域で増加しました。

【県の状況（1/14～1/20）】

インフルエンザは、県内の定点あたり患者数が40.03人となり、警報値である30人を超え本格的な流行状態に入りました。年齢層別では、冬休みが明けてから14歳以下の割合が高くなっており、学級閉鎖等も報告されています。予防にはこまめな手洗いや体調管理が重要です。また、急性脳症や肺炎等の合併症を引き起こす場合もあるため、症状がみられる際は早めに医療機関を受診することが勧められます。

感染性胃腸炎は、盛岡市でノロウイルスによる集団感染事例が報告されました。予防には、食品に触れる前やトイレ後などの石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の処理に使い捨ての手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤を用いることが重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は県央、二戸、久慈、中部及び奥州地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超えました。妊婦の方が感染すると胎児に影響するおそれがあるので注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】